水は電気を通すことによって

（　水素　）と（　酸素　）に分解されました。

では、酸化銀の場合はどうなるかな？　　　　　　　　　 → 銀　　　　＋　　　　　酸素

教科書や先生の実験を見てみよう。

　　金属に共通な性質



　①（　　金属光沢がある　　）　②（　　熱や電気を良く伝える　　）　③（　展性・延性がある　）

今日は塩化銅水溶液に電気を流してみましょう。

どんな物質に分解されますか？予想してみよう。

塩化銅　→（　　　　　　　　）と（　　　　　　）

①　塩化銅水溶液に電極をつけ、電源装置につなぎ、

電気分解を６Vで行う。

②　＋極と－極で行われている反応をよく観察し、その特徴も

含めて記録する。

結果とわかったこと

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ようす | 物質 |
| ＋極 |  |  |
| －極 |  |  |

わかったこと

　　２年　　組　　番　氏名

①　炭酸アンモニウム（白色粉末）を蒸発皿の上に少量のせ、ガスバーナーで加熱する。

どうなった？→　炭酸アンモニウムが　　　　　　　　　　　　　　　　　　→　つまりすべてが

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　）に変化した。

②　図のような装置を組み、試験管に入れた炭酸アンモニウムをガスバーナーで加熱する。

　　発生した気体を２段階で緑色のＢＴＢ液に通し、色の変化を確認する。

ＢＴＢ液は

　　　　色

に変色した。

ＢＴＢ液は

　　　　色

に変色した。

結果を分析しよう！

（１）試験管の口に（　液体　）がたまった。これに塩化コバルト紙やリトマス紙をつけたところ色が変化した。

　　　塩化コバルト紙（青色）　→　　　　色に変化　　　　リトマス紙　→　　　　色に変化

　　　　　→　つまりこの液体は（　水　）の（　　　）である。

（２）発生する気体を分析しよう！

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | １本目（手前）の瓶 | ２本目（奥）の瓶 |
| ヒント | 水に良く溶ける。　水に溶けるとアルカリ性です。 | 水には少ししか溶けない。水に溶けると酸性です。 |
| 正体 |  |  |

→（　　炭酸アンモニウム　　）は（　水　）と（　　二酸化炭素　）と（　　アンモニア　）に分解された。

　　２年　　組　　番　氏名